

4-(1)

出来形管理総括表(中間 **しゅん工検査**)

工事名 _____

測定者 ○○ ○○

工種	種別	測定項目	測定基準	測定回数		規格値 (mm)	測定値			摘 要	
				計画	実施		最大値	最小値	平均値		
道路工		基準高	基準高は、測点の中心線上及び両端について測定する。 幅は、全幅と中心線から左右それぞれの幅を、測点ごとに測定する。 延長は、測点ごとに測定する。 IPは、全交点及び全測点について測定する。			± 50					
		幅員				+ 200 - 0					
		IP間距離				+ 0.5% - 0.2%					
		測点間距離				± 100					
		施工延長※2		設計延長	実測延長			-0			
		IP点交角						± 1°			
む(擁壁・護岸工・土留工含む)	積キコ ・ヤンク 鋼スクリ 製トリー ・ブ 補強ロ 土ツプレ クレ	基準高									
		高さ (法長)									
		幅 (厚さ)									
		法勾配 (壁前傾)									
		延長									
ス上(舗装・表層・基層・鉄鋼スラグ)	スリート ・ス グ ・コ フ ・ン ア ル 鉄 鋼	基準高									
		幅									
		厚さ									
固(治山ダム工含む)	トコ ンク リ	基準高									
		堤幅									
		堤高さ									
		堤延長 法勾配 (下流側倒れ)									
ン(山腹工含む)	アンカー 工 ・ロ ック ボ ルト 工 ・ボ ー リ ン	基準高									
		幅									
		高さ									
		厚さ									
		延長									
		アンカー自由長 (鋼材長)									
		アンカー定着長									
		削孔長									
		削孔角									
		軸間隔									
		テンドン挿入									
		グラウト注入量									
		削孔展開角									
保孔管挿入											

※1 道路工、擁壁工(護岸工・土留工含む)、舗装工(表層・基層・上層路盤(鉄鋼スラグ))、治山ダム工(流路工・床固工含む)、山腹工(アンカー工・ロックボルト工・ボーリング工)を必須工種とする。
(出来形管理基準に対応した測定項目のみ記載する。)

※2 道路工の施工延長については、測定回数欄に、設計延長と実測延長の値を記入する。

※3 以下の工種については記載を省略できる。

【省略可能な工種】

土工、基礎工、水路工等、法面工、法面覆工、暗渠工、柵工、安全施設、路床工、下層路盤工、上層路盤工(鉄鋼スラグ以外)、区画線工、仮設工

※4 しゅん工時の型枠、床掘の出来形管理表及び出来形管理総括表の提出は不要。

※5 その他の記載工種は、監督員と協議の上決定すること。

